

CONTENTS

はじめに 3

Chapter 1

医薬品業界の現状

01 世界の医薬品市場	
拡大し続ける200兆円市場	12
02 日本の医薬品市場	
世界3位も国内市場は伸び止まり	14
03 製薬ビジネスの事業構造	
研究開発型のハイリスク・ハイリターン事業	16
04 新型コロナウイルス流行の影響	
ワクチン1剤で5兆円の売上急拡大とその後のマネジメントの難しさ	18
05 後発薬から新薬まで欠品	
空前の医薬品不足は何故起きた	20
06 ブロックバスターの不在	
求められる新たな成長戦略	22
07 創薬手法の大変革	
医薬品市場を席捲するバイオ医薬品	24
08 事業の選択と集中へ	
世界規模で進む業界再編	26
09 拡大が続く後発医薬品市場	
後発医薬品への対応が急務の先発医薬品メーカー	28
10 新型コロナウイルスの流行①	
異例となる早期のワクチン開発 医薬品業界へのインパクト	30
11 新型コロナウイルスの流行②	
ワクチン・治療薬の開発 日本の製薬会社の出遅れの背景	32
12 医療費抑制政策	
国内医薬品メーカーへの医療費抑制政策の影響	34
13 日本の製薬会社	
生き残りをかけて海外市場へ進出	36

COLUMN 1

医薬品のナショナルセキュリティ 38

Chapter 2

国内外の大手製薬会社の歴史と動向

01 世界のメガファーマの復活	
製薬会社として初の1,000億ドル超え ファイザーの強さと製薬事業の難しさ	40
02 世界一のバイオ医薬品の製薬会社	
治療薬と診断薬で個別化医療を開拓 ロシユの躍進	42
03 新しい技術で市場に挑むベンチャー	
新型コロナワクチンで存在感 創薬ベンチャーの実力	44
04 国内の製薬関連事業の見取り図	
医療用医薬品と一般用医薬品を扱う国内メーカー	46
05 国内最大手のメガファーマ	
欧州大手製薬会社を買収 武田薬品工業の戦略	48
06 国内製薬会社初の新型コロナワクチンを実現	
多彩なモダリティ技術による研究開発力で日本発の創薬に注力する第一三共	50
07 中堅企業から世界的な製薬会社へ成長	
1剤で市場を変える新薬の開発力 大塚ホールディングスと小野薬品工業	52
08 バイオ医薬品への特化で成長	
外資傘下でも独自経営を維持 中外製薬の戦略	54
09 積極的な海外進出に活路を見出す	
海外企業に対抗する営業網を強化するアステラス製薬の戦略	56
10 アルツハイマー型認知症の新薬に挑む	
認知症の治療から生活まで支えるプラットフォーム エーザイの戦略	58
11 領域特化による成長戦略	
漢方薬メーカーと眼科薬メーカー	60
12 急成長と来るべき停滞の打開策	
後発医薬品（ジェネリック）メーカー	62

COLUMN 2

ワクチン78億人接種のインパクトと適正な医薬品価格 64

Chapter 3

医薬品業界の組織と仕事

01 医薬品ビジネスの構造	
医薬品にかかわるさまざまなプレイヤー	66
02 製薬会社の組織と職種①	
製薬会社の基本的な組織体制	68
03 製薬会社の組織と職種②	
研究開発部門の仕事と創薬ベンチャーの活用	70
04 医薬情報担当者（MR）の仕事①	
医薬品の適正使用の情報を伝えるスペシャリストのMR	72

